

静岡県西部地域しんきん経済研究所トピックス

2011年12月20日

平成24年の経営見通し

静岡県西部地域しんきん経済研究所（理事長 山本長行、以下県西部しんきん経済研究所）は、静岡県西部地域の中小企業を対象に行った「平成24年の経営見通し」をまとめましたのでご案内します。

1. 調査概要

調査対象 遠州信用金庫、浜松信用金庫の取引先 636 社
調査方法 調査表による面接聴取法
調査時期 平成23年12月1～7日
回収状況 調査数 636 社 回収数 612 社（有効回答率 96.2%）

2. 調査結果（詳細は別添資料をご参照ください）

①平成24年の日本の景気について8割の中小企業が悪いと予想

平成24年の日本の景気をどのように見通しているかを尋ねたところ、「良い」と回答した企業は3.2%にとどまり、悪いと回答した企業が80.1%を占めた。

②平成24年の自社の業況

平成24年の自社の業況については、「良い」=9.4%、「普通」=31.5%、「悪い」=59.1%となり、「悪い」が「良い」を49.7%上回った。自社の業況においてもやや悲観的であるが、昨年調査と比較して「悪い」と回答した割合は10%以上減少（72.3→59.1）した。

③3割の企業が売上増加を見込む

自社の売上見通しを平成23年と比較すると、「増加する」=29.6%、「変わらない」=37.4%、「減少する」=33.1%と、「減少する」が「増加する」を僅かに上回ったものの、業況の見通しよりは明るいかとなった。

業種別にみると、自動車、繊維、機械は「増加する」が「減少する」を上回った。楽器は「減少する」が過半数を占めている。

④成長・拡大を期待したい分野は「環境・エネルギー」

自社の事業展開上、成長・拡大を期待したい分野についてたずねたところ、製造業・非製造業いずれも「環境・エネルギー」の回答割合が最も高かった。次いで多かったのは、製造業では「海外市場」、非製造業では「地域活性化・町おこし」となった。

本件のお問い合わせ先

432-8036 浜松市中区東伊場2-7-1 浜松商工会議所会館9階

静岡県西部地域しんきん経済研究所 間瀬

TEL 053-452-1510

FAX 053-401-6511

特別調査 『平成24年の経営見通し』

平成23年は忘れられない年となった。県西部地域では東日本大震災による直接的被害はほとんどなかったものの、サプライチェーンの崩壊、自粛ムードによる消費低迷など様々な間接的な影響を及ぼした。加えて、電力不足、タイ洪水被害、歴史的な円高など製造業が基幹産業である県西部地域にとって、苦難が続いた。

戦後の日本が戦前に戻るのではなく著しい復興を成し遂げたのと同様、平成24年は未来志向で経営に取り組む必要があるだろう。言い古された言葉ではあるがピンチとチャンスは表裏一体である。

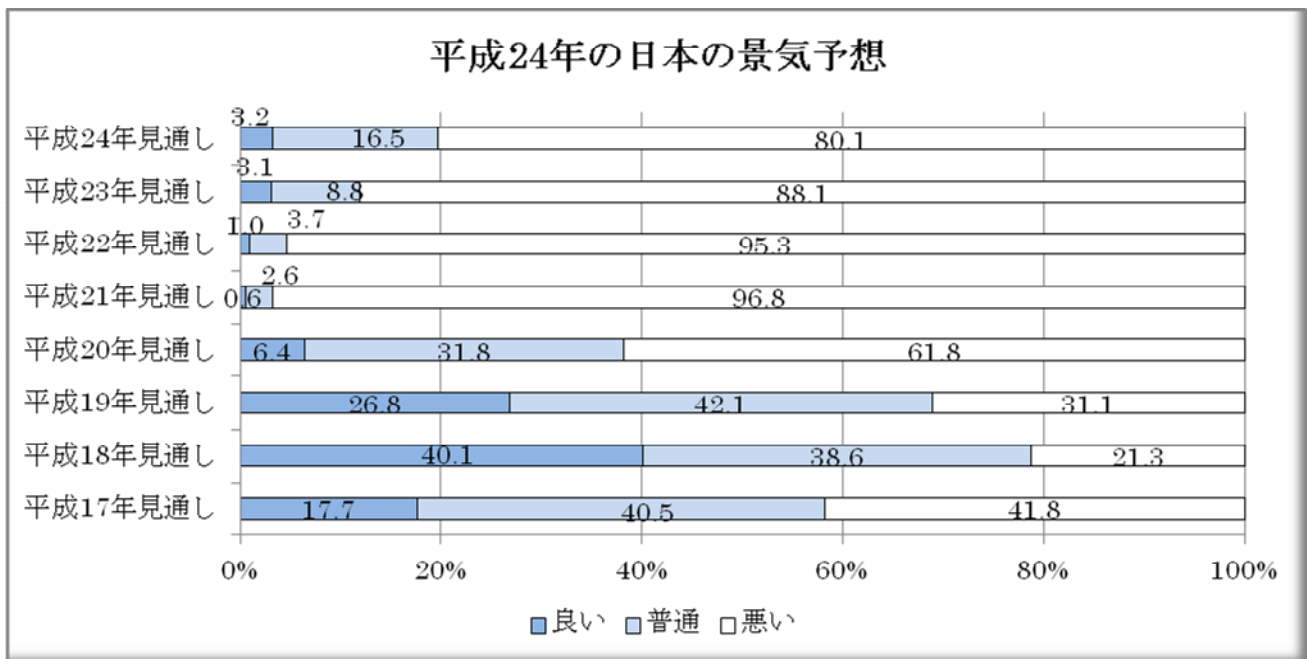
特別調査では、このような情勢の中で、中小企業の平成24年の経済・経営に関する見通しについてアンケートを行った。

●平成24年の日本の景気 8割の中小企業が悪いと予想

平成24年の日本の景気をどのように見通しているかをたずねたところ、「良い」と回答した企業は3.2%にとどまり、悪いと回答した企業が80.1%を占めた。

近年の推移をみると、平成18年見通しでは、「良い」が「悪い」を上回っていたが、リーマンショック後の調査（平成21年見通し）では総悲観の状況になった。その後、回復傾向にあり、「良い」の回答割合は依然低迷しているが、「悪い」の回答割合は徐々に低下している。

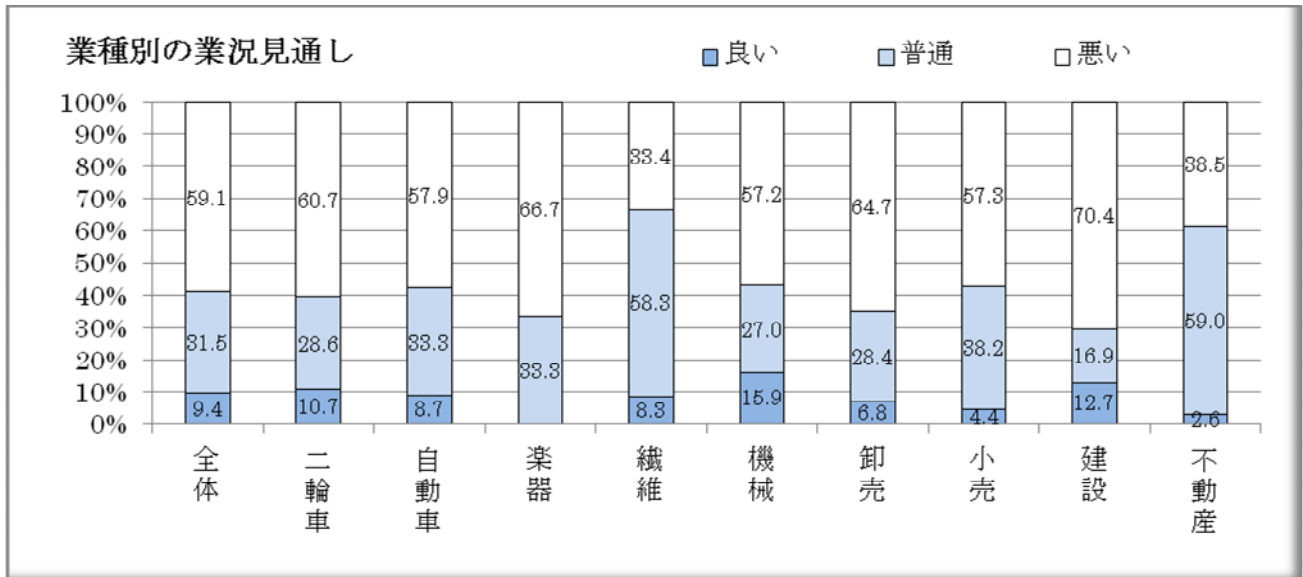
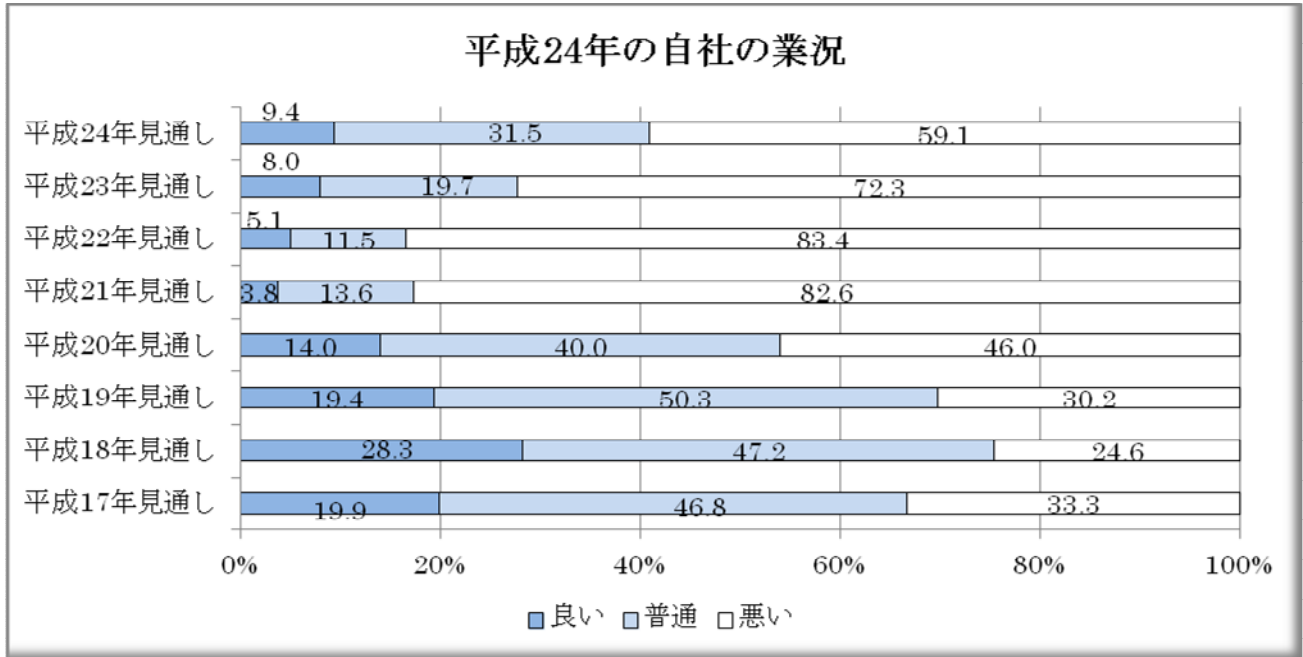
経済調査機関によると、平成24年は復興需要が牽引し、日本経済は緩やかに成長するとの見通しが大勢を占めている。しかし、本質問は「良くなる or 悪くなる」（景気の方角）ではなく、「良い or 悪い」（景気の実感）でたずねているため、昨年より若干回復した程度にとどまった。



●自社の業況 依然厳しいが「悪い」と回答した企業は減少

平成24年の自社の業況については、「良い」=9.4%、「普通」=31.5%、「悪い」=59.1%となり、「悪い」が「良い」を49.7ポイント上回った。昨年調査と比較すると、「良い」と回答した割合は微増（8.0→9.4）にとどまったが、「悪い」と回答した割合は10ポイント以上減少（72.3→59.1）した。

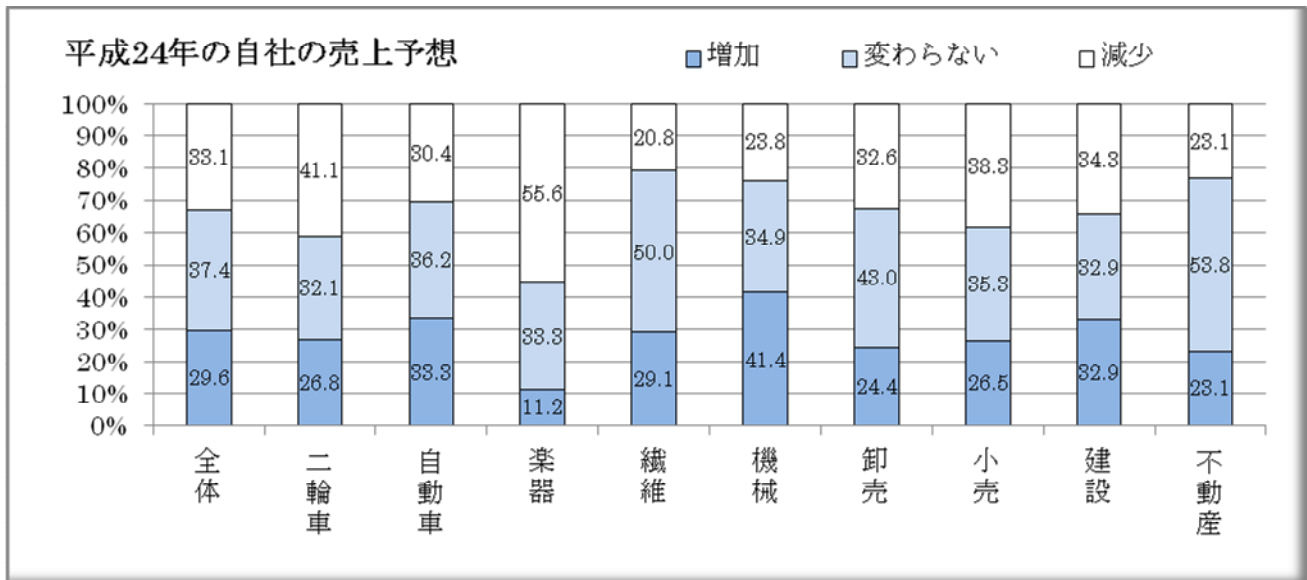
業種別にみると、いずれの業種も「悪い」の回答割合が「良い」を上回っているが、繊維、不動産は「悪い」の回答割合が相対的に低く「普通」が過半数を占め、比較的堅調に推移する模様。



●3割の企業が売上増加を見込む

自社の売上見通しを平成23年と比較すると、「増加する」=29.6%、「変わらない」=37.4%、「減少する」=33.1%となった。「減少する」が「増加する」を僅かに上回ったものの、業況の見通しよりは、明るい結果となった。

業種別にみると、自動車、繊維、機械は「増加する」が「減少する」を上回った。楽器は「減少する」が過半数を占めている。



●成長・拡大を期待したい分野は「環境・エネルギー」

自社の事業展開上、成長・拡大を期待したい分野についてたずねたところ、製造業・非製造業いずれも「環境・エネルギー」の回答割合が最も高かった。次いで多かったのは、製造業では「海外市場」、非製造業では「地域活性化・町おこし」となった。

